



平成28年成人式

▲北部会場（白鳥文化ホール）

▲南部会場（郡上市総合文化センター）

北部実行委員会



北部会場の成人式実行委員会は、新成人22人（大和地域出身8人、白鳥地域出身9人、高鷲地域出身5人）により構成され、案内状・しおりのレイアウト、記念写真の方法や記念品の内容、式典・アトラクション等の企画、成人式当日の運営を行いました。

☑実行委員長の杉澤慶彦さん(白鳥町)と副実行委員長の郷祥季さん(白鳥町)に感想を聞きました…

ほとんど顔見知りの人たちだったので、楽しく参加することができました。学校や仕事の都合で、全員揃うことは難しかったですが、それぞれが役割を決め、助け合いながら内容を検討しました。スライドショーの写真収集は、恩師の先生にも協力していただき、当時の思い出深い写真を集めることができました。アトラクションの司会は、とても緊張しましたが、無事にやり遂げることができ、ホッとしています。先生方からの「贈る言葉」は、一言一言が深く胸に響きました。先生方には感謝しています。ありがとうございました。これから私たちは、それぞれの道を歩いていきますが、実行委員会を通して得た達成感や充実感を忘れずに、日々を過ごしていきたいと思います。

☑次の実行委員となる後輩へ…

成人式の企画・運営に関わることで、とても思い出深い成人式になると思います。一つのことに向かって協力できる仲間はかけがえのないものです。学校や仕事で忙しいかもしれませんが、ぜひ、実行委員の一員となり楽しい成人式を企画してほしいと思います。

南部実行委員会

南部会場の成人式実行委員会は、新成人22人（八幡地域出身12人、美並地域出身4人、明宝地域出身3人、和良地域出身3人）により構成され、案内状・しおりのレイアウト、記念写真の方法や記念品の内容、式典・アトラクション等の企画、成人式当日の運営を行いました。会議の調整や案内、デザインに対する意見集約などは、みんなが利用している「LINE」を使って行いました。



☑実行委員として参加した成人式の感想…

「実行委員として企画運営できて良かった」「思い出になった」「やりたいことができた」など、自分たちで作上げていく喜びと達成感、充実感でいっぱいの成人式でした。市外在住の委員が多い中、4回の実行委員会、前日準備も併せて、実行委員で集まることを楽しみにしているような雰囲気の中、準備ができました。当日は、少し緊張した面持ちでしたが、司会、国家斉唱、市民憲章朗読、記念品授与などの各役割を務めることができました。第2部のアトラクションでは、当日の式などの様子を動画で撮影し、すぐに編集して映すという企画も行い、思い出に残る成人式になりました。

☑実行委員長の兼山耕輔さん(八幡町)に感想を聞きました…

実行委員長として成人式に関わって、自分の人生の中で一度だけの成人式を自分たちで作っていくことに楽しさを感じました。また、当日みんなの笑顔を見られた時は喜びも感じられました。来年、成人式を迎える後輩たちも、実行委員として積極的に参加し、最高の成人式にしてください。



新成人の門出を祝う



「ふるさと郡上」に誇りと愛着を持ち生きてほしい

日置市長式辞（要約）

新成人のみなさん「成人」おめでとうございます！！

昨年は「戦後70年」という節目の年でありました。その20年前、みなさんが生まれたのは、日本が「戦後50年・半世紀」という大きな節目を迎えた時期に当たります。

私などは「あー、あの頃に生まれた人たちがもう20歳になったのか」「日本の戦後50年から70年という時代に、生まれ育つてきた世代なのか」と、自らのこの20年間も振り返りつつ、ある種の感慨を覚えずにはおられません。

あれから20年。経済は、なかなか低迷を脱することを得ず、政治は内政、外交ともに課題山積。一方、情報通信技術やロボット技術などをはじめとした科学技術の急速な進歩。それに、みなさんが生まれる直前の平成7年1月には「阪神・淡路大震災」がありました。間もなく5年になろうとしますが、平成23年3月、みなさんの中学卒業の時には、あの「東日本大震災」が日本を襲いました。このような時代に、みなさんは育てられ、育つて来られたのです。

さて、今日成人式を迎えられたみなさんの胸の中には、どんな夢や希望や思いが秘められているのでしょうか。「成人おめでとう」「みなさんは今日から大人の仲間入りだ」と言われても、喜びの半面、ある種の戸惑いもあるのかも知れないと推察します。

作家の伊集院静さんは、新成人に向けたメッセージの中で「大人って何だ？大人とは、一人できちんと歩き、自分と、自分以外の人にちゃんと目を向け、いつでも他人に手を差しのべられる力と愛情を持つ人だ」と書いています。また「こうすれば大人になれる」と書いてある本はどこにもない」とも言っています。みなさんも、まさに今日から「自分はどうな大人になるのか」「そのためにはどうしたらよいのか」「一人ひとりが、自ら答えを求めて生きていくべきだ」と。

いま日本では、少子高齢化、人口減少が進む中であって、国も県も市町村も、元氣な国や地域をつくるために、「まち・ひと・しごと」の創生をキーワードとして懸命な取り組みをしています。「創生」という言葉は、聞き慣れない言葉かも知れませんが「新しく作り出すこと」と辞書に

はあります。

新成人のみなさんには、個人的にも「この「まち・ひと・しごと」の創生」という言葉をキーワードとして、第一歩を力強く歩み出して欲しいと思います。

第一に、「まち・つまり」、「自分」はこれからどこに住み、暮らし、地域とどのようにかわっていくのか。第二に、「ひと・つまり」「自分はどんな人間になるのか、どんな人と家庭をつくったり、どんな人とどんな人間関係を結んでいくのか。第三に、「しごと・つまり」、「自分はどんな仕事をし、どんな働き方をしていくのか」。先程の伊集院静さんは「仕事とは、何かを生み、作り上げ、それが人々をゆたかにするものだ。だから仕事には慈愛があり、尊厳があるのだ。それ以外を仕事とは言わない」と書いています。どうぞ、若い力で、一人ひとりの道を切り拓いていくください。

そして、世界に雄飛し、あるいは、国内で、とりわけ「ふるさと郡上」で活躍して欲しいと願っています。「ふるさと郡上」の「地方創生」を進めていくうえで、みなさんのような若い力の参画を強く必要としています。これから、どこに住み、どのような仕事に

就かれようとも、みなさんには、郡上市で生まれ育った「郡上人」として「ふるさと郡上」に誇りと愛着を持ち、しっかりと「ふるさと」のつながりを保ち続けて、生きていていただけたことを切望いたします。

なお、今年の6月19日以降に公示される国政選挙から、わが国の選挙権年齢は満18歳になります。したがって、みなさんは日本の政治史上、満20歳で初めて選挙権を手にする最後の年齢層ということになる見込みです。積極的に投票に参加し、有権者としてご自分の一票を大切にされますよう希望をいたします。

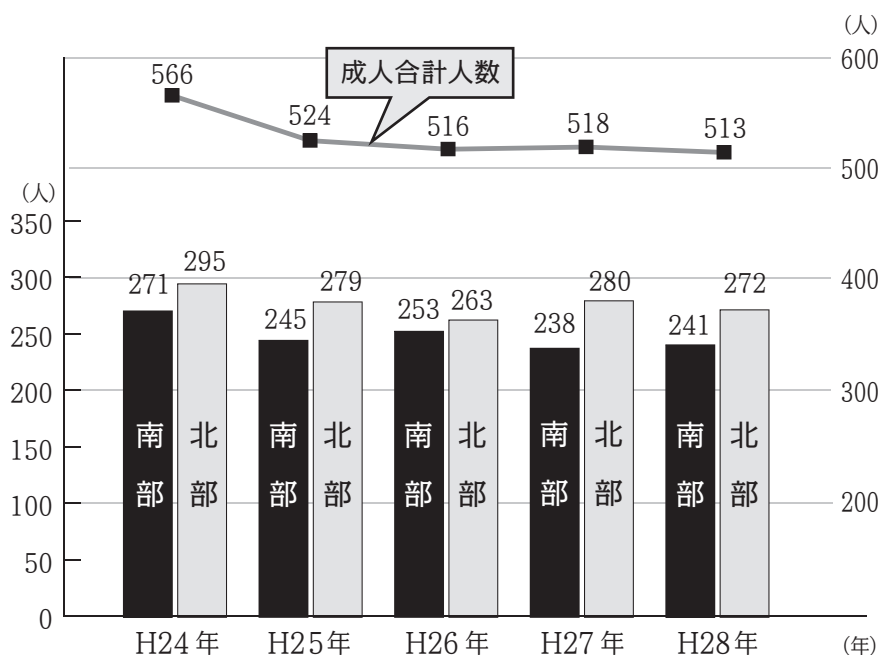
今日の佳き日に当たり、みなさんのご家族だけでなく、多くの市民のみなさんが新成人のみなさんを祝福しています。これからの国や地域社会を担う若いみなさんの力に大きな期待を寄せています。

本日の成人式は、昨年9月から、新成人のみなさんで構成される実行委員会のメンバーが中心となつて準備を進めていただきました。今日までのご尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

※この記事は、日置市長の式辞を要約し、掲載しました。式辞の全文は、郡上市ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

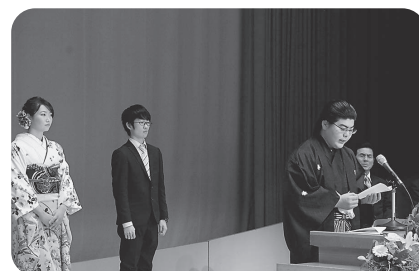


◆今年の新成人は513人（男257人、女256人）



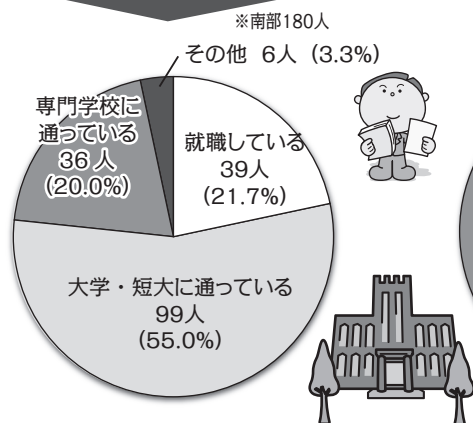
南部 …八幡・美並
明宝・和良

北部 …大和・白鳥・高鷲

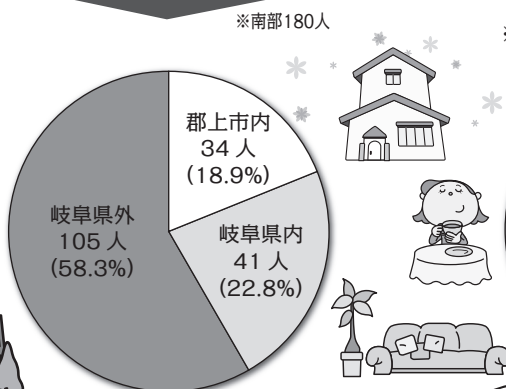


◆人口減少問題は郡上市の大きな課題ですが、新成人に現在の状況と郡上市で生活することについてのアンケート調査を実施しました

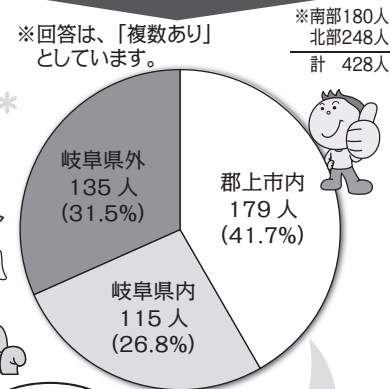
現在の状況



現在の生活場所



将来生活したい場所



理由は？

郡上市内…

- 郡上が好き、愛着がある
- 住みやすい
- 実家で暮らしたい

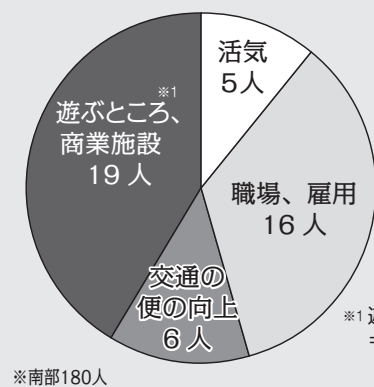
岐阜県内…

- 郡上に仕事がない
- 郡上の実家に近い

岐阜県外…

- 郡上には職場がない
- 交通の便もよく便利・快適
- 都会に住みたい
- 今住んでいる所が好き
- やりたいことがある
- 郡上に住むのは老後と考えている
それまでは都会で働く

●郡上市で生活するためには何が必要（何が足りない）と思いますか？



※1 遊ぶところ・商業施設
＝スーパー、ファミリーレストラン、ファーストフード店、ショッピングモールなど